



### 救えなかったのか少女の命！

会長 藤原 実

日頃から会員の皆様には、当地区の社協事業の推進に対しご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

令和3年度の事業も、新型コロナウイルスの感染防止のため、3密を避けることで、ほとんど中止したところです。

こうした中でも、役員や地域ボランティアの協力でサロン会員への電話による励ましやら密を避けながらの訪問活動を続けております。

今、旭川市では、いじめ問題が注目されています。昨年3月、旭川市の中2のNさん(当時14歳)が凍死体で発見されました。いじめによるものか、その原因を明らかにすべく第三者委員会が設置されていますが、各々の立場の違いからか、なかなか進展していないようです。

週刊誌や地元紙の報道がなければ、凍死した女生徒の無念の死は埋もれていったような気がしてならない。

14歳の女生徒の死を防ぐことはできなかったのか。関係の責任を云々するつもりはないが、個人的な見解を言えば、防ぐことができたような気がする。

防ぐことができなかったのは、関係者の人間性を「麻痺」させる外圧によるものと思えてならない。関係者はこの「外圧」を十分に認識していることに難しさがあり、外圧を緩和する仕組みの確立が求められる。

このような事件は、旭川市の特殊な出来事ではない。全国的な問題でもある。また、子どもに限ったことではない、障害者や高齢者や女性など社会的弱者にひろがっています。

いじめは犯罪であり、不当な行為であることを私たちは認識し、許してはならないと思いつつ、勇気がいる行動でもあります。

私自身「見て見ぬふりをしない社会」に少しでもお役に立ちたいと思っているところです。

結びに、このコロナ禍の中、市民委員会をはじめ、各町内会の役員、民生委員児童委員、地域包括支援センター、さらには地区ボランティアなど多くの地域の皆様のご支援・ご協力に心より感謝申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

# 令和3年度の社協活動

今年度も昨年につき新型コロナウイルス感染拡大の状況を見極めながらの会議や事業の活動になってしまいました。総会は年度の活動のご承認をいただく大事な会議になりますが、昨年につき本会を代表する26名の理事さんによる書面議決になりました。

## 主な事業の取り組みの様子

### 1 敬老会事業

敬老祝賀会は提案通り中止。今年度の77才以上の対象者の方は1,580名でした。長年にわたり地域社会の進展に貢献されてきたことへの感謝とますますのご健康とご多幸を祈念し、今回もささやかですが記念品を贈らせていただきました。

記念品等の準備作業には女性理事さん数回にわたりお手伝いをいただきました。

### 2 月2回のサロン事業

#### 1) 愛宕富士住民会館でのふれあいサロン

毎回新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら、4月、10月、11月、12月4回の実施となりました。

#### 2) 旭山なかまの家の3階でのおしゃべりサロン

コロナ禍のためホール利用の許可が下りず1回も開催出来ませんでした。

### 3 安心見守り事業

コロナ禍が長期化する中で、担い手さんの本来の活動が大変難しい状況になり、「そっと見守り活動」や「電話での声かけ」を中心に進めています。

### 4 地域の特性活かした事業

#### 1) 「見守り活動情報交換会」は7月17日に富士住民会館で実施。

#### 2) 「地域福祉を考える学習会」は中止。

## 見守り活動「情報交換会」の開催

予定の事業が中止する中、「情報交換会」は何とか実施することが出来ました。

各町内の世話人と地域コーディネーター17名の参加でしたが、コロナ禍の中での見守りの現状と今後の取り組みについて交流しました。

- ◆町内行事等や老人クラブ活動を通して状況把握をしているが、今はそのような活動や行事を控えているので難しい。
- ◆総会後の班長会議を通して対象者の情報収集をしているが、未加入者の把握については大変難しい。
- ◆民生委員との「情報交換を進めているが、今後は更に積極的に進めていきたい。
- ◆若い人は働いている人が多く、交流の難しさに苦慮している。
- ◆コロナ禍での見守りは難しいが、今出来る方法で人と人のつながりを構築していきたい。

# 長引くコロナ禍でのサロン活動



## 待たれるふれあいサロン

サロン会員 渡部 武治

一人暮らしの自分にとり、月2回のサロンはとても楽しみです。1回目の「おしゃべりサロン」では、お茶を飲みながらお喋りやトランプ遊びなどで仲間と楽しい時間を過ごしています。

2回目の「ふれあいサロン」は、役員さんやボランティアの方々が高齢者のことを考えて色々な計画を立ててくれます。また、毎回地域包括支援センターの方が来て、高齢者のための学習会や脳トレや筋トレを指導してくれます。本当に感謝でいっぱいです。

ところが、ある日突然の新型コロナウイルスの感染があつという間に世界に日本にひろがり、楽しみのサロンもほとんど中止です。それでもコロナ感染が下火になった時に4回ありました。

感染予防のため消毒やマスクをかけてのサロン、いつもとは雰囲気は違いました。でも、久しぶりに仲間と顔を合わせ、みんな揃っての軽体操やゲームができたことは嬉しく、サロンの有り難さをつくづく感じました。今は、コロナ禍で外出を控え話す相手もない静かな毎日、読書やテレビを見たりしていますが、すぐ飽きがきます。特に最近のテレビは若い人向けの番組が多く残念です。

しかし、昨年夏には、1年延長の第32回東京オリンピックが無観客で開催されました。58個のメダルを獲得した日本選手の活躍にたくさん興奮したたくさん感動をもらいました。テレビにかじりつき夢中で応援、暑い夏を忘れ楽しく過ごすことができました。

実は自分の人生は夏のオリンピックと不思議と縁があります。私は昭和11年生まれで第11回のベルリン大会です。昭和31年の第16回メルボルン大会の時には初めて就職。また昭和39年の東京オリンピックは結婚した年です。昭和から平成にかけて13回の転勤をしましたが、オリンピックの年とよく重なったりしました。

新しい年を迎えたのにオミクロン株の感染拡大で気持ちも暗くなりますが、サロンが1日も早く開かれることを願い、前向きに頑張りたいと思っています。

## 赤い羽根共同募金 ご協力ありがとうございました。

- ★町内会を通しての戸別募金額は17町内で326,350円でした。
- ★愛宕地区内の事業所等からの大口募金額は26社130,000円でした。
- ★今年度も街頭募金等を実施させていただきました。
  - 10月3日(日)のベストプライス豊岡店での街頭募金額は9,718円でした。
  - 4店舗等に設置の募金箱（ツルハドラック豊岡12条店、味処内海、クラフト館レストランオーリーブ）の募金額は4,069円でした。
- ★イベント募金（あさっぴー寄付金バッチお売り上げは13,500円です。尚、今回ご協力いただきました大口募金の各社は以下の事業所です。

皆さんからいただいた善意は、旭川共同募金会を通して、旭川市の福祉施設や恵まれない方々へ貴重な助成として有効に活用されています。



この広報は赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

- |               |                 |             |
|---------------|-----------------|-------------|
| ■ ささき歯科       | ■ アサヒ管財(株)      | ■ はしづめクリニック |
| ■ 會田建設(株)     | ■ (株)プリントショップ彩光 | ■ 誓願寺       |
| ■ (株)大協       | ■ いちかわ耳鼻咽喉科     | ■ (株)セラホック  |
| ■ (株)米田組      | ■ とくひろ整形外科クリニック | ■ やまぐち眼科    |
| ■ すずぎ歯科クリニック  | ■ はやし内科胃腸科小児科医院 | ■ 密伝禅寺      |
| ■ (NPO)動物園くらぶ | ■ 梅津歯科クリニック     | ■ たに歯科医院    |
| ■ (株)長勢紙業     | ■ 動物園通りの動物病院    | ■ たいせつ動物病院  |
| ■ (株)山岡金物店    | ■ (株)マツヤ塗装工業    | ■ 今本歯科医院    |
| ■ 留萌信用金庫あたご支店 | ■ 新豊岡地区(区域外)    |             |

## 電話で元気を与えるボランティアさんの声かけ運動

一人暮らし対象のサロン活動も、新型コロナウイルス感染症に翻弄され続けています。中止の連絡を会員さんへ流す度に、楽しみを奪っているような心境になっていました。

そんな折、ボランティアさんの中に、自主的に会員さんへ電話をかけて励ましている話が耳に入ってきました。

このことが契機となり、女性ボランティアの有志による電話を中止とする声かけ運動がスタート。

声かけを続ける中で当初の安否確認や励ましの趣旨が、今はどちら言えば会員さんの「いい話し相手」になってあげようという気持ちに変わってきています。



ボランティアの集まり

### 編集後記

地区社協広報「ふれあい38号」をお届けします。

暖かな日差しに春の兆しを感じる時季になりましたが、会員の皆様には如何お過ごしでしょうか。今年度も長引くコロナ禍で、地域に住む人々の安心・安全のための見守り事業やサロン活動が思うように実施することが出来ず、もどかしい思いをしております。

一日も早いコロナの終息を願うばかりですが、今後とも社協の活動に対し、あたたかいご支援ご協力をお願い申し上げます。